

近年の世界遺産委員会開催状況および世界遺産動向（2022年7月）

1. 近年の世界遺産委員会開催状況

■第43回世界遺産委員会

開催地：バクー（アゼルバイジャン）

期間：2019年6月30日～7月10日

■第44回世界遺産委員会

開催地：福州（中国）

期間：2020年6月29日～7月9日

※新型コロナウイルス感染症の影響のため延期

■第44回世界遺産委員会拡大大会合

開催地（議長国）：福州（中国）オンライン

期間：2021年7月16日～7月30日

○延期された2020年の審議分と合わせて、第44回世界遺産委員会拡大大会合としてオンラインにて開催。

■第45回世界遺産委員会

開催地：カザン（ロシア）

期間：2022年6月19日～6月30日

※延期決定（開催時期未定）

2. 世界遺産動向（第44回世界遺産委員会拡大大会合の結果を受けて）

第44回世界遺産委員会拡大大会合における主な決定事項

○日本から申請されていた「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」（自然遺産）、「北海道・北東北の縄文遺跡群」（文化遺産）の2件を含む、合計34件（文化遺産：29件、自然遺産：5件、複合遺産：該当なし）が新たに世界遺産リストへ登録された。

○2012年より危機遺産リストに掲載されていた「リヴァプール-海商都市」（イギリス）が、史上3件目となる世界遺産リストからの削除となった。

→第44回委員会拡大大会合での増減により、世界遺産総数は1,154件となった。（後述の表参照）

○危機遺産リストに、「ロシア・モンターナの鉱山景観（仮訳）」（ルーマニア）が追加された。（世界遺産リストへの登録と同時）

危機遺産リストから、「サロンガ国立公園」（コンゴ民主共和国）が削除された。

世界遺産リストから削除された「リヴァプール-海商都市」（イギリス）は、危機遺産リストからも削除された。

→第43回委員会までの危機遺産リスト登録件数は53件

→第 44 回委員会拡大会合での増減（1 件追加、2 件削除）により、危機遺産リスト登録件数は 52 件となった。

※「観光検定公式テキスト」（2020 年 4 月発行）に記載の世界遺産関連の情報は、第 43 回世界遺産委員会（2019 年）までのものです。第 44 回世界遺産委員会拡大会合の結果を受けて、世界遺産の数について、下記の表にてまとめます。

世界遺産数（2022 年 7 月現在）

	文化遺産	自然遺産	複合遺産	合計
第 43 回委員会まで	869	213	39	1121
第 44 回委員会拡大会合での追加	29	5	0	1155
「リヴァプール-海商都市」削除	- 1			1154
2022 年 7 月現在の合計	897	218	39	1154

参考

日本ユネスコ協会連盟 2021.08.03 「『第 44 回世界遺産委員会拡大会合』が開催されました」
<https://www.unesco.or.jp/activitiesitem/worldheritageitem/9941/>